常磐毎日新聞

日刊　夕刊　六月廿二日

定價　一部金貳錢　一ケ月金五拾錢　郵稅五厘
廣告料普通一行五拾錢、場所指定一行七拾錢
日曜祝祭日の翌日休刊
發行兼編輯人印刷人　坂本忠治
發行所　常磐毎日新聞社　電話　六三〇番
印刷所　常磐毎日印刷株式會社　（振替口座）東京　四〇二一〇番

小兒科內科
酒井醫院
◎入院隨意（電話五五）
醫學博士酒井保
平市字南町

今秋の体力検定は
飛び入り勝手
市民が自分を試せよ
新らたに出來た級外

平市では銃後國民の体位向上をはかるため昨年から實施された厚生省主管の『体力検定』が頗る好成績を收めたので今年も引續き九月中旬を期し青年團、學年學校その他一般市民の体力検定を行ふことになつたがその方法は前年度の實績に鑑み上中初級の他に級外甲、乙、丙の各級にわかち誰でも希望者は參加が出來自分の力量を試す事が出來る

尚各級の標準は

△百米十四秒（上級）十五秒（中級）十六秒（初級）十七秒（級外甲）十八秒（乙）十九秒（丙）

△二千米七分三〇（上）八分（中）九分（初）十分（甲）十一分（乙）十二分（丙）

△手榴彈投四五米（上）四〇米（中）三五米（初）三〇米（甲）二五米（乙）二五以下（丙）

△運搬六〇瓩一五秒（上）五〇キログラム一五秒（中）四〇キログラム一五秒（初）三〇キログラム一五秒（甲）二五キログラム一五秒（乙）二五キログラム以下十五秒（丙）

△懸垂十二回（上）九回（中）五回（初）四回（甲）二回（乙）二回以下（丙）

又實施に當つては検定を一日に終了するを原則とするも止むを得ざる場合は二日に亘るも可とされてゐる

一割節米の方法
混食や代用食其他

既報今二十二日平市公會堂で開催される筈であつた地方における「戰時食糧報國運動協議會」は都合により二十五日に延期されたが目標は一割の節米でその實施項目としては左の如き事項があげられてゐる

△完全咀嚼△七分搗米の常用△豆甘藷、馬鈴薯、野菜等の混食△うどん、そば、ぱん、だんご等の代用食△飯用以外の米使用抑制△雜炊、粥食△間食の代用食勵行△戰時献立（營用本位に依り節食）△共同炊事

三大炭礦に
青年學校設置

既報常磐炭礦に計畫された青年學校は入山炭礦を皮切りに次いで磐城炭礦も認可されいづれも礦業所長が校長となり首腦部並びに小學校教員、鄕軍幹部が教諭となつて毎日午後六時半から八時半迄授業を行つて居り出席率は豫想以上に良く明るい話題となつてゐるが古河炭礦にもこの程設立認可の指令があり來月中に開校することになつたのでこゝに懸案の三大炭礦青年教育陣は大きな期待をかけられるに至つた

友の會の皆樣へ（中）

國民精神總動員福島縣本部參與　**阿部コト**

やがて定刻になり一同着席、中央が會長の橋本知事を中心に總務部長、經濟部長、學務部長始め十五名の理事、五十名の參與、十二名の幹事が列席しました

左側に知事夫人が上座に着席し御陰で私如き者も男子の參與の方々より上座に列席を許され恐縮で御座いました

婦人の向ふ側が貴衆兩院議員、縣會議員、教育關係者並に各新聞支局長等の方々七十有餘名でありました、平地方より木村清治樣、諸橋久太郎樣、篠山先生、大內民惠樣が御出席で御座いました

會長橋本知事より開會の辭あり、宮城遙拜、出征將士の祈願默禱、それより協議に移りました

午前中は戰時食糧報國運動と、金保有者に對する賣却奬勵でありました、物江樣が一番槍に起ち次いで當地方の木村樣、大內樣それから多くの男子の方々の御意見が御座いました、そして十二時になり一時休會、一同麥飯の御辨食を頂戴致しました、御辨食頂戴中、知事夫人より午後からは婦人の方より發表と言ふ順序になつて居りますから是非發表して下さいとの御頼みで御座いました

一時に再會の鈴がなりました、再會すると早速御隣の田倉樣が御立ちになりましたが六十五才の二本松町の御婆さんでありながら何ものも恐れず勇敢に堂々意見を發表致しました事には實に頭が下りました

私は未熟故前座を務める積りで田倉樣の次に立ちました、大体別紙の意見を發表致しました

婦人の發表者は二人丈けで御座いました處、當局よりは御兩人の御意見は誠に時機に適した御意見でありますから充分御主旨を尊重致しまして成可御希望に添ふ樣に取計ひます、今月二十日過ぎより縣下五班に別れて地方運動に出發しますとの御挨拶を得まして聊か面目を施しました樣な氣がいたしました

殊に知事夫人より閉會後特別御懇篤なる感謝の御言葉を頂戴致しました次第で御座います

（昭和十五年六月十六日記す）

＝次號意見發表　草案掲載＝

戰死の通知

錦町字江栗出身新村部隊星梅雄上等兵は去月五日宜城縣田家集附近の戰鬪で名譽の戰死を遂げられた旨この程實家に通知があつた

炭礦の主腦部
貯蓄打合

貯蓄强調週間第二日目の今二十二日平署では管內における三大炭礦をはじめ會社、工場等の主腦部を集め貯蓄に關し打合せを行つた

二百圓未滿の田畑は免稅
申請締切本月末

平市では賃貸價格二百圓未滿の田畑に對しては自作、小作を問はず住所地市町村及隣接町村の分（同居家族の分を含む）を合して右に該當するものは申請をすれば免稅になるが是れは本月末迄に申請を出さないと駄目である、用紙は市役所の國縣稅係に備付けてあると

田邊屬榮轉

平稅務署庶務課次席屬田邊虎喜氏はこの程福島へ榮轉され二十六日午前八時三十分平驛發で赴任する

宜昌散華
地方の英靈

宜昌作戰に散華した濱田部隊の英靈は二十三日上海發便船で故國に凱旋をすることになつたが地方關係の英靈は左の如く原隊着は二十八、九日頃の豫定である

△草野村軍曹古市卯平

△錦町上等兵海井勳一

野球陣振ふ
縣下大會を前に
練習白熱化

縣下大會を前に連日猛練習を行つてゐる前年の覇者平商野球部は連勝を目ざし明二十三日から一週間明大の三宅投手迎へコーチを受けることになつたが優勝候補と目されてゐる磐中野球部でも同日から早大の小川外野手を招きコーチを受けることになつてゐる

尚兩野球部は明二十三日中通りの雄郡山商業を迎へ磐中球場で各對戰する試合は午前中が磐中、平商が午後の豫定

市役所對抗
球場が決定

既報平市役所では今年度縣下福島、若松、郡山、平、四市役所對抗歡式野球大會が平市に開催されることになつたのでこれが準備を進めてゐたが七月十四日午前九時から平商球場で開催と決定した

英靈十二柱
平商の慰靈祭
商友會が主催して

既報平商友會では明二十三日總會に先立つて午前十時から母校講堂に興亞の人柱となつて武勳輝く卒業生中の戰歿會員の慰靈祭を執行するが英靈は左記十二柱である

▽第一回卒業生平市菅本利雄▽第五回東京市牛込區佐藤喜代三郎▽第七回船橋市海神町大平直道▽第十回內鄉村中野四郎▽第十三回神谷村佐藤勝久▽第十六回內鄉村渡邊昇▽第十七回神谷村齋藤長治▽同內鄉村大越山▽第十八回平市星野嘉久治▽同好間村叶多芳衛▽第二十回平市鈴木一▽二十一回湯本町阿久津勇次

第三回の報國債券
平局の豫約

〃當てぬ一萬圓の夢〃がものをいつて羽根が生えて飛ぶやうに景氣のいい報國債券はまた〳〵二十四日より第三回の賣出しが行はれるが平郵便局をはじめ關係銀行其他に早くも豫約申込みが殺倒してゐるといふから今回もアツ！といふ間に賣切れになるものとみられる

小名濱配給券
目下調製中

小名濱町では砂糖に對して縣經濟部との打合せの結果切符制によつて遺漏なき配給をなす計畫から先頃各區長や組長を動員して調査した家族數一萬六千七百三十八戶に對し配給券を作製中にて町役場丹野書記は大童となつて目下調製中であるから近々中實施されると

小名濱町
雇入調査

小名濱町では勞働者雇傭關係から五人以上雇入れの家庭若しくは家庭工業職業經營者に對して本日より向ふ五日間に亘り全町に亘つて調査する事になつた

臨港鐵道の工事
既に九分通り進行

小名濱臨港鐵道の本社事務所及び小名濱驛の工事は本町海岸埋立地に工事中だつたが事務所は既に九分通り落成驛ホーム等も九分通り竣功を見た

尚常磐線と泉驛で聯絡する工事も着々進捗してゐるがこの方は本年末までかゝる豫定である

六才の幼兒が
小豆鍋を冠る
大火傷して遂に死亡

好間村大字北好間字堂田隅田川炭礦機械職工四家一さんの長男明雄（六）ちやんは二十日午後五時頃自宅で弟の定美（四）ちやんと遊び廻つてゐるうちストーブにかけてあつた小豆鍋をかぶり背中其他に大火傷を負ひ直ちに島田醫院の手當を受けたが二十一日午前十時半頃遂に死亡された

ゴム底の足袋を
世話すると詐る
營林署員を裝つて
懲役三年言渡

目下住居不定無職茨城縣久慈郡宮川村生れ谷成三郎（三九）はこの程平區櫻井判事から詐欺橫領罪で懲役三年の判決を言渡された

同人は前科八犯を有する强かもので今年四月中「俺は營林署員だがゴム底足袋や軍靴を世話する」と詐り貝泊村大字藤平農佐藤松治さん外數名から六十餘圓を騙取したものだが取調べの結果歸還航空兵だとか道路工夫監督だとか詐り縣下各地で詐欺を働いてゐたことも判明した

無錢飲食
懲役一年

既報平市三田小路カフエー一の井をはじめ湯本、小名濱町の料理店で百餘圓の無錢飲食を働いた東京市城東區下島町生れ目下住居不定土工根岸寅吉（三〇）に係る詐欺事件はこの程平區で公判開廷櫻井判事から懲役一年の判決を言渡された

保育所奉仕

錦町吳羽工場國防婦分會員二十餘名は去る十三日から開設した同町の農繁期保育所四ケ所に毎日八名宛交替で奉仕關係者を感激せしめてゐる

東日本總會

小名濱町東日本丸漁業株式會社では明二十三日臨時總會を開き定款の一部變更其他を附議する

平市人事

出産

△紺屋町三目下東京下谷區山伏町三五稻川忠平氏長男實君

回婚姻

△紺屋町三目下東京市下谷區山伏町三五稻川忠平（四七）氏と山形縣最上郡金山町字中田二二四千川原ハツノ（三四）さん

回死亡

△搔槌小路四德治氏孫山田飲司（一）君

疏水の恩澤を知れ

小名濱支局通信　支局長　**小野務平**

月餘に亘つた旱旱は遂に農作物に影響を與へ場所に依つては插秧の時機を失する悲慘事を演出するやも知り難き結果とならうとした、天は決して人を徒に殺しはしない、十六日並びに十七日における降雨は其惠澤の大なるものあるを農村と言はず生民一般蘇生の感を大ならしめた事は言ふまでもない。

こうなるまでにも小名濱町の耕地は薄地であり砂地である處から田畑共に旱害から受くる損失は決して尠少でないのであつて神社に向つて雨乞ひ灌漑の設備等の爲めに容易ならざる費えを見る事が常であるが、昨年度からは殆と完成された鮫川疏水の爲めにこの苦境から完然に救濟された事である。

茲に至るまでの迂餘曲折と幾十年かの歲月を要し百幾十萬圓と云ふ工費をも投じた結果であると言はるるが此の完成期を早むるに至つた源因としては何と言ふても日本水素の工業會社の創立にまたねばならぬ、該工事が或請負者の失敗によつて殆放棄の已むなきに立ち至らむとした場合、水素工場の工費負擔に依つて急速の完成を見るに至つた事は蔽ふべからざる事實で茲に旱害救濟の實を舉げ得たものとして考ふる必要がある。

本町が疏水より受くる恩惠は參百町步の田畑のみでない、上水道の如きも亦然りであつて其恩惠や重なり大なりと言ふべきである。

然るに我町民中には此の恩惠をさほどに辨へず當然來たるものが來たるが如く考へ往昔のあの灌漑の騷ぎや雨乞ひの祈禱などの時代を忘れ其源因を窮明せざる誹りを招くものさへありと聞くのであつて甚だしき忘恩行爲として指彈すべきものであらうと思ふのである。

然らば報恩の道は何かと言はば疏水そのものは之をどうやらうとしても致方なし唯茲に至らしめたる時代的人物の努力こそ疏水完成の大恩人たる事を忘れてはならぬ、小名濱町にしても疏水事業を今日あらしめた導火線を作つた地下の先覺や現存され在る諸氏に對して謝恩の義禮を撰ぶの一事である。

其處に『本立ちて始江反る』の義に通ずるもので是れが人生に於ける最美の行動として常に心得べき一事であると信ずるものである。

昔日の苦勞を忘れ恩義にムサボラレて其體を忘れんとするを憂ひ關係町村民に檄する次第である。

（完）

ラヂオ

今晩の部

▼後六、〇〇　子供の時間　物語「中村將軍の最後」長沼依山
▼後六、一五　講演「日滿關係の今昔」杉村勇造
▼後七、一〇　鄕土に寄する言葉（錄音）謠樂家菊地章子
▼後七、三〇　國民歌謠
▼後七、四〇　子供と家庭の夕
▼後九、〇〇　連續物語　明治海將傳（二）「勝安房」菊地寬原作、坂東簑助

明日の部

▼前六、三〇　季節の話題　登山の話　坪川武重
▼前六、四五　季節の聲（河鹿をきく）秋田市横手…旭川にて錄音
▼前七、〇一　神社めぐり　鵜戶神宮
▼前八、〇五　小鳥の啼聲（錄音）
▼前八、一五　木琴獨奏　一、行進曲「寶の山」ハーバート曲　二、圓舞曲「爽かな朝」ストツプ曲　三、カナリヤポルカ　フエルドラー曲　四、クシコの郵便馬車　ネツケ曲（木琴獨奏）星出義雄（ピアノ伴奏）星キン子
▼前九、〇〇　朝の音樂（レコード）
▼後九、三〇　子供の時間　解說付管絃樂　一、序曲「輕騎兵」スツペ作曲　二、序曲「蝙蝠」ヨハン　シュトラウス作曲　三、行進曲「フリードリツヒ大王」フリーデマン作曲　日本放送交響樂團　解說並指揮　荻原英一
▼前一〇、〇〇　週間を顧みて（錄音）
▼前一一、一〇　牛乳（錄音）
▼後〇、〇五　合唱　一、モテツト「救ひのいけにへ」　二、老いたる人　ハイドン曲　三、マドリガル「ハンスとグレーテ」エツカルト曲　四、コサツク民謠四篇（イ）ステンカ、ラージン（ロ）コサツクの子守唄（ハ）白樺の木（ニ）ヴオルガ下り　東京シンフオニツククローラス（指揮）津川主一
…新進演藝の午後…
▼後一、〇〇　浪花節「岩松御用辨」木村富士衛
▼後一、一五　落語「角兵衛」春風亭小柳枝
▼後一、四五　講談「肉付きの面」桃川東燕
▼後二、一〇　漫才「明朗二人組」寶家樂三郎、全直太郎
▼後二、三〇　浪花節「瞼の母」浪花家辰一
▼後二、五五　北米西部向海外放送
▼後三、三〇　レヴュー「琉球と八重山」澄川久　東洋子、眞田千鶴子外　日劇合唱團（伴奏）日劇管絃樂團（解說）葉村みき子（指揮）多忠修
▼後三、四〇　朗讀「戰爭詩」照井瓔三
▼後六、〇〇　子供の時間　連續劇「たんれん部隊」（六）大阪放送コドモ會
▼後六、一五　講演「日本とタイ國との關係」矢田部保吉
▼後七、一〇　鄕土に寄する言葉（錄音）洋畫家詩人棟方寅雄
▼後七、三〇　（錄音）リポート
▼後七、四〇　獨唱　一、ラルゴ　二、悲歌　三、知丘の上　四、かなしみ　五、汝はわが憩ひ　六、われは恨らまじ（獨唱）東海林太郎（ピアノ伴奏）菊地博
▼後八、〇〇　寄席中繼…上野鈴本より中繼…　一、落語「締醫者」桂小文治　二、時事小唄「浮世辭典」石田一松　三、落語「無筆」三笑亭可樂　四、漫才「笑の交叉點」橘家菊春〃太郎　五、落語「二十四孝」柳谷小さん

夏のお洋服
夏のお帽子
新型豐富
ツルヤ
電一四〇

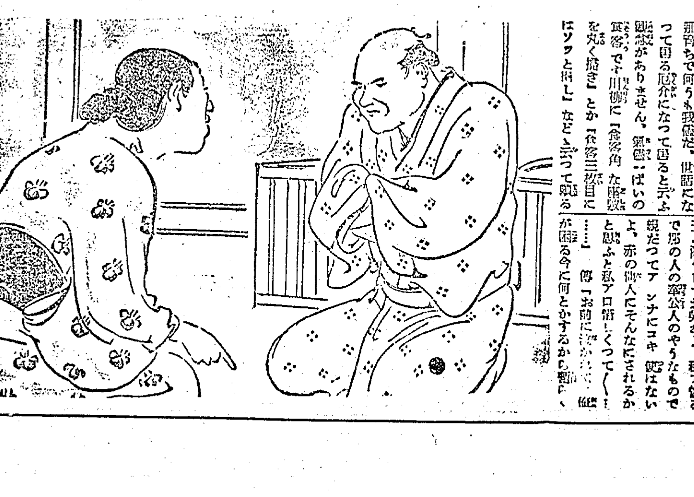
宴會、御婚禮、仕出し
烹割　尼子亭
……お湯の設備あり……
公園內　電話一三〇番
女中さん至急入用

まついゆうけんでん 松井勇劍傳

第百六回
平親王の末孫

お玉は先刻から呆れて見て居りましたが　玉「何か差上げと云つたつてお前さん、此の人は之れで御飯を七十八杯お喰ひになつたんですよ、モウ何を上げたつてお喰へなさるまいわ」　傳「何を云やがるんだ、七十八杯だなんてお客樣の食べなさるのを勘へて居る奴があるかい、何でも可いから差上げろ」と云ふので大姊の客が何かと大切にして呉れます、丹三郎大いに喜んだが何と云ふにも其日那育ちで何うも我儘だ、世話になつて居る厄介になつて居ると云ふ觀念がありません、氣儘にぱいの食客で可川柳に『食客角な座敷を丸く掃き』とか『食客はソツと出し』などと

前さんが理屈らしい事を云ふた…んなことを云つちや傳兵衞濟むまい、乞食同樣落れてゐたのを御の叔父が拾ひ上げてやつたんだ、その恩を忘れてゐるかと云はれると顏を眞赤にして默つて了ふが傳かへお前さん乞食してゐたのを那の人の家で拾ひ上げられたのかへ　傳「イヤそんなことは何うたつて宜いちやねえか」　玉「イヽエよくはないよお前さん私に嘘を吐いたね、俺は平親王の門の末孫だなんて……」　傳「そんなことを言ふなよ、近いうちに何とかして了ふから」　玉「何うしてお呉れよ、私ア恰るで那の人の奉公人のやうなもので親だつてアンナにコキ使はないよ、赤の他人にそんなにされるかと思ふと私ア口惜しくつて〳〵



惡くはない客になつて居りますが丹三郎は丸く掃く所か縱のものを横にも致しません徒日[illegible]をして起ると咳へ楊子で　丹「お玉や味を上げて呉れろ、乃公は湯に入つて來るから……」　傳湯から歸つて來ると大部屋をぶつ掻いて寢をもつと入れて……」なんて　丹「お玉や一つ盛つて呉れ、汁のお給仕をさせて飯を喰ふと云ふ有樣、起きるから寢るまで玉や玉やと間斷なしにコキ使ひます、傳兵衞は御主人の若旦那と思ふから我慢も　あるが女房に馬鹿〳〵しくつて愚痴をこぼす始日　玉「傳兵衞さんお前那んなものを家へ引張り込んで何うする氣なの」　傳「引張り込んだ譯ぢやないが向ふで押しかけて來るんだもの仕方がない」　玉「お前さんは仕方がないと諦めて居られるかは知らないが、私ア龍聞に這る譯がないよ、お前さんより食客の方が私を使ふのが荒つぽいよ、お向ふの猫みたいに五月蠅つて仕樣がない、何うして呉れるんだい、お前さんも困うちやないの傳兵衞々々つて犬のやうに叱りつけられ、少しお

の間我慢して呉れ、永い間その若旦那はさせないから」が女房に攻めらるるものですから堪まらなくなつて傳兵衞が丹三郎に向ひ　傳「わえ若旦那、貴方は何う云ふ思召しか存じませんが何時まで親に勘當されるものではございますまい、何とか人を入れて詫を入れるとか左もなければ何とか外に身を立てる方法でも考へなさらないと……」　丹「分つた〳〵、貴樣何んだな、女房のお玉に泣き付かれたな、早く乃公を追ひ出して呉れとせがまれたらう」　傳「イエそんな事は……」　丹「隱すな〳〵俺はチヤンと知つてゐるぞ」　傳「若旦那說いて困りましたか」　丹「說いてゐなかつたけれどチヤンと知つてゐる、然し貴樣の氣が濟する無理はない俺も何時までも貴樣のうちで食客になつてをるも本意でない、何とか身の立つ法を考へんければならんと思つてゐたが武士の奉公は口入屋だ、何うだらう、仲間奉公でもするやうな所はなからうか、成るべく武家奉公が宜い」　傳「左樣即有つちや不可ません若旦那が仲間奉公など出來るものですか」　丹「イヤ出來ないことはない武家の奉公するは仲ぴんが惡め奉公もして下郎の苦しさ味はつて見なければ同情の心が起らない」

考査法の奥に潜む問題

山川菊榮

新考査法を中心に、中學校側と小學校との意見が對立してゐる。小學校側はどこまでも子供本位に考へ、受驗準備教育にゆがめられた初等教育を、その本來の軌道に返し得たことを喜んでゐるに反し、中學校側は、自分の學校に上級學校への入學の競爭上、有利な條件をそろへた子だけ引きぬいて來られないことを不滿に感じてゐるらしい。受驗中心の弊が、殊に中學へすゝむ子に不自然な負擔を強ひるばかりでなく、小學教育だけに終る他の大部分の兒童を閑却し、その教育を有名無實にするといふ、一層大きな弊害については、中學校側でも、國家的立場からもつと考へる必要があるのではなからうか。

・・

とはいへ、これとても中學校だけがわるいともいへない。根本的には日本の教育が、國家とか社會とかの進步發榮をよそにして古くからの唱歌にあるやうに「身を立て、名を擧げること」即ち立身出世といふ、極めて卑俗な、功利的な手段と考へられてゐるからであり、その立身出世のために有利なコースの第一步が中學の入試と、その中學の性格とによつて決定されるといふ、わが國教育制度の根本的缺陷が放置されてゐるからである

・・

學校卒業に伴ふ特權廢止と國家試驗の問題は、久しく問題にされたまゝ、取上げられないが、この際文部省は、小學教育のみならず、中學教育もまた、受驗準備のためにゆがめられてゐること、卒業に伴ふ特權があるために、ただ卒業免狀だけを目的とする甚だ低調なふん圍氣を學生の中に作り出し、そのために營利企業としての學校經營を繁昌させるといふ奇怪な現象にも手を觸れてほしいものである。國家試驗をパスする實力がなければ、どんな學校は卒業しても、國家的な地位にも職業にも就かれぬことにならなければ、學生の氣風も改まらず、私立校への補助も餘り役には立つまい。そして學校教育の中に立身出世といふ個人的目的を追求する態度全部もつと批判されなければならないと思ふ。」

……はなし

「なぜ南京米を喰ふのだらう」

「鄰邦の支那と、細く長くつき合へといふ謎なのさ」

この難局を乘切るに孤立しては損です

買ひ出しも數軒一緒に

明るい新綠の季節にはなつたが「戰時」だ戰時だと、戰時下の主婦のこゝろは憂鬱なにきざし閉されてゐるさて今日の食膳には何を？古いノートから獻立を求めてあれもこれもざい料がない、何つても家計の許さぬ値段だ

●戰時下の再認識● に獨り小さくおびえる女 それに「孤立した主婦」の恐怖——「だから、どんな時にも、同じ立場の主婦が、協同の意識に目ざめてそれぞれの生活グループを組織して、あたらしい家庭の形態を作りませう」と全國友の會の羽仁說子さんが主婦たちに呼びかける。その新しい生活の形態とは？

物がないといつて不安がるから買ためをするといふけれど、家族の個人的な、小さい家庭を單位とした經濟しか敎はらなかつた。獨りぼつちな主婦の立場だから不安になるのだと思ひます、かういふ時には組織的な協力によつて切りぬけて行くことが必要です。徒らにおびえて小さくちゞこまり消極的になつて行くことは、却て意味のない

●生活低下となつ● てしまふのでむしろ、自覺した主婦として積極的な生き方をするのが正しい事だと思ひます。大きくは消費組合のやうな組織、小さくては家庭グループのやうな組織を作つて、孤立の消費者から協同の消費者になる時、物資不足やヤミ取引の惱みも合理化されて來ます

木炭の場合にしても、お役所は各家庭に一俵の配給といへばいかにも、公平なやうですが、決してさうではありません、夫婦きりの家庭、幼兒のある家庭、子弟が學校に行つてゐる家庭、老人のゐる家庭——みなそれぞれの消費量が異なるのですから配給も一家に一俵といふ公式的なものでなく、個々の

●家庭の集團で● あるグループとか消費組合を通じて配給をするときにこの矛盾が解消します、私たちの消費組合では、かうした家庭の事情條件のことが充分に調査してありますので、たとへば一週間の節米といふやうな場合にも、あの家は發育盛りの子供がゐるから、あの家は女の人が多く病人もゐるからこの位で充分だらうといふやうに、配給の割當が實情に即してやれますので、節約によつて非常にこまるといふことがありません隣組のやうな單に地域的なグループだけでは意味がありません、グループはできるだけ同程度の生活者によつて作つた方がいゝので、すべて切符制も個人を單位として施したのでは、必ず

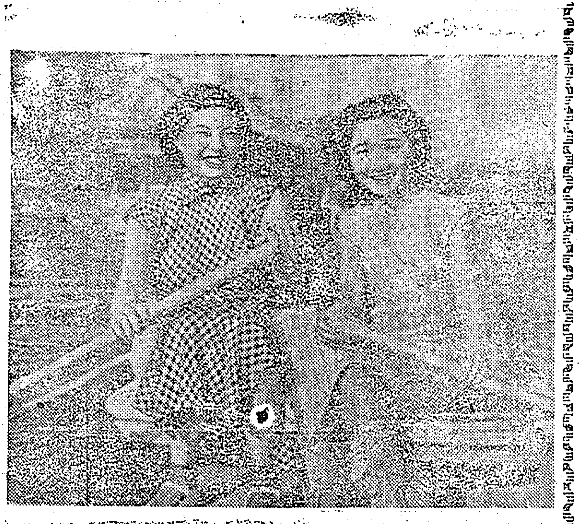
●必要、不必要● の家庭ができそれがやがてプレミヤ付きの闇取引を生む原因だと思ひます。私たちのところでは、消費組合の下に二三十軒の各支部を置いて米なども原産地から玄米で買つたものを七分搗とし外米を法定だけ混入して配給します精米によつてできた胚芽を利用して胚芽パン、ぬかはビスケットを作つてゐますが兩方とも好評です。

組合員はすべて一人一ケ月に付き十二圓（この間までは十圓でした）を榮養食費として、この中に米、副食物、調味料も一切含んでゐます、そして主婦は一週間分の獻立豫定表をつくり希望のざい料を明細に書いて組合に提出します、組合はこれによつて一週間分の物品を最も經濟に仕入れることが出來、組合員に毎日その日の獻立材料を配給します、これによつて必要以上の

●買入れも起り● ません、調味料などは一年分の消費量が調査してありますので不自由することはありませんかうした方法は、たとへば五軒くらゐの小グループでも利用出來ます、共同炊事が主婦の負たんを輕くすることは誰しも考へてゐる事でせうが、實行をおつかうがる傾向が實現を困難にさせるのです

五軒のグループなら五日に一度の當番ですみますし、いろいろ變つた料理も喰べられ、やがて料理の研究心も出來、後の四日を他の仕事に振當てられる上に、燃料なども經濟です、小さい共同炊事は大きな臺所でなくても出來ます、同窓會なども着物や趣味の見榮を張る會ではなく、かういふグループとしての役割をもつやうになつてこそ

●新しい意義が● 生れるのです、かう云ふ時には經濟をしてゐる人の方がきまりの惡い時世だから暮し向きを秘密にする癖をやめて、他の家計を參考とし、自家のものを參考に供して研究して行く——かうしたためにも、主婦のグループが最も必要だし、よい暮し方の機關だと思ひます



ボートの快味

おしやべりを直す

その極意七ケ條を御傳授いたしませう

一、別に近所や友達の惡口をいつて歩くのでなくても御婦人であまりお喋りすぎでおしやべりなのは自他共に困ることが往々にしてあります

二、そうしたことに氣づい困つてゐらつしやる御婦人や旦那さまに近ごろ耳よりなニュースが入りました

三、といふのは、ニューヨーク大學の心理學者アドラー博士の研究によるもので、同博士は心理學的の立場から詳しく論じてゐますが、結局その結論をやさしく申上げると次の次第……

四おしやべりをなほすただ一つの方法は一方何か能力を消費し興味を[illegible]せしめるものをあたへそれによつて方向を轉換させることが何よりであると說いてゐます

五、そしてその方法としてはたとへば日本流にいへば三味線でも琴でもあるひはピワ、ピアノなんでも好きな音樂を習はせることが最も効果的であるといふのです

六、これは一寸考へるとなんの變哲もないつまらないことのように思はれますが、正しい心理學的な法則から生れたもので同博士は極力實驗をすゝめてゐます

七、但しお話相のない奧さまには內證々々

……育兒のメモ……

自信のない子供

幼稚園や學校へ行つていらつしやるお子さんで、自分に全然自信をもたない方があるものです

から云ふお子さんは決してしからず、恥をかいても譽をあまくして希望を持たせてやりませう。臆して體の弱い子に多いものです、このコツの飲みこむのはお母さんの義務です

特許 學用品・國策品
特約店募集
カタログ規定送呈
東京市京橋區木挽町一ノ二
三井洋行

蓄膿症中耳炎其他
內服 プロゾン錠
本劑は純國產ズルフォアミンにして、其効果の偉大なるは、黴毒に對するサルバルサン以來の新發見として世界的に喧傳せられつゝあり、蓄膿症中耳炎其他葡萄狀球菌連鎖狀球菌による疾患全部及淋疾婦人病一般に對し治療期間を短縮し、強力なる効果を發揮す 直ぐ發賣元へ。
價定 100錠 ¥6.00 50錠 ¥3.50 20錠 ¥1.50
發賣元 二葉衛生研究所
東京市芝區南佐久間町一ノ五二
電話芝（43）八〇六番
振替東京一一一四七四番

暴風地帶

橫井北道作

第十四回

傷心（四）

如何に図々しい男にしても自分のしたことがどんなことであるかを知つては、恥入らずには居られなかつた。

「すみません、すみません、ほんとに僕、夢中だつたのです。夢中でやつたことなのです。惡氣があつてやつたのではありません、許して下さい！」

「……」

「僕はほんとうに惡氣があつたのではないのです。只、自分の[illegible]へ夢中になりすぎたんです。それで澄子さんの出世を願へばこそんです。許してください。ほんとにすみませんでした」

省三は手をつかんばかりにして詫入るのだつた。

が、すみ子の氣持ちは穩かになりはしなかつた。さうした男の態度を見てゐると憎惡の念だけが激然と湧き上つて來るのだつた。

腕に力があれば、省三の頰をぐわん！と一つ喰らはしてやりたいやうな衝動にかられた。

「何故出て行かないんです。小母さんを呼びます」

彼女の聲はヒステリックに戰いた。

その聲は階下のお內儀のところへも聞えて來た。

おかみは何事が起つたのかと不審に思ひながら、階段を半上つて二階の樣子を伺つた。

「牧山さん！出て行つて下さいつたら出て行つて下さい！」

聲は澄子の部屋からであることが知れた。

と、同時に、省三が澄子に何かよくないことをしたことを直感した。

おかみは省三が前々澄子に好意を持つてゐたことをよく知つてゐた。そして彼が暇さへあれば澄子の部屋へ入りびたることも承知してゐた。

知つてはゐたが、それを強ひてかばはうとはしなかつた。

といふよりむしろ、省三が澄子と近しくなることを悦んでゐたのだ。

うまく澄子を說き落してものにしてくれるといゝと思つてゐた。

さうして一日も早く省三が身を固めてくれることが彼女の願ひでゐた。

が、今の澄子が[illegible]するに、二人の仲は[illegible]何かせつぱつまつた事が起きてゐると思は[illegible]た。」

——行つて見やうか……

——いや行くまい……

——口論ひが起きたのかしら……

おかみは階段の中途で去就に迷ふてゐた。

と、障子の開けられる音。

おかみは咄嗟に下の座敷へおりると、何喰はぬ顏で長火鉢の前に坐つてゐた。

案の定、省三がしほ〳〵と降りて來た。

「どうしたの省三さん……」

おかみに呼ばれても、牧山は返事をしなかつた。

「浮かない顏をして、さ、そこへお坐りなさい。伯母さん少しお話しがありますよ」

「……」

省三は默つたまゝそこへ坐ると首をうなだれたまゝで、元氣がない。

「ねえ、省三さん。今まで何していたの、澄子さんのお部屋でせう」

「……」

◇和文歐文タイプライター
◇最新事務用品類
◇文房具一式
◇製圖並に測量用品
◇謄寫版並に附屬品
平市田町銀座街
東邦タイプライター代理店
東邦タイピスト養成所
藤森
電話三七〇番
振替仙臺一五〇一番
（藤森事務用器商會）

貝やき
と〝美味しい〟
みりんぼし
『鰹節製造販賣』
志賀盛榮商店
平市四丁目（電話二三一番）
日本生命平代理店

花柳病科外科
木村外科醫院
平市南町（警察署通り角）電話三〇九番

◎女車掌
（三名至急募集）
1、未經驗者ニ限ル
2、委細面談
3、優遇ス
平市二丁目
三井タクシー
電六八五番

提灯と國旗
…お買物なら
在庫品豊富な…
平市田町
銀座通り
玉屋洋品店
電話六五六番

▼自轉車とリヤカーの御用は!!!
平市才槌小路一二
矢野輪業商會
電話三七〇番

一、產婦人科
一、外科一般
一、花柳病科
小名濱町小學校前（元土井醫院跡）
黑澤醫院
醫學士 黑澤廣
電話四五番

夏の味覺は
石川亭の
すき燒から
夏季中特に香水風呂の設備あり
平市田町
石川亭
電話四三番

高久病院
院長 醫學士 高久忠
副院長 新潟醫學士 赤羽清
藥局長 藥劑師 佐竹菊雄
平市田町 電話五一三番
內科小兒科 外科花柳病科 耳鼻咽喉科
——◎看護婦至急募集——

營業時間
開店…午前十時
御食事は午前十一時より
閉店…午後十一時半限り
食事喫茶酒場を兼ねた
レストラン
サロン
平市銀座街
電話五九二番

內科外科一般
金成醫院
金成忠義
平市鎌田町 電話三五八番

大塚の運動具
各種……豊富に揃つて居ます
△野球用具
△庭球用具
△競技用具
△ハイキング用具
カツターシヤツ類
夏のシヤツ類
トレーニングパンツ
庭球パンツ
ランニングシヤツとパンツ
ドッチボール
排球 籠球 類在庫有り
平市田町銀座街
大塚へ
電話七七番

「旨い」と一言（ヒトコト）にして盡く
神戸牛
すき燒
相始め申候
平市仲田町
日本料理 山茶莊（つばき）
電五二〇

◎診療科目
一、齒科一般
保存科、補綴科、繼續槽工科
小兒齒科、槽漏膿科、齒列矯正科
一、口腔外科
一、レントゲン科
平市田町（松月堂向）
中野齒科醫院
電話五〇九番
院長 日本齒科醫學士 中野惠次
日本齒科醫學士 鹽谷伍郎
補綴部主任 佐藤重義